

AFPY (Adventure Friendship Program in Yamaguchi) 概論

1 山口県の実践



山口県では、世界的な野外教育機関である Outward Bound School (OBS) の教育手法を導入し、平成5年度から県内の小・中・高校生を対象とした青少年自然体験活動推進事業「心の冒険・サマースクール」等の長期自然体験活動を実施してきました。令和5年度からは、「やまぐちアドベンチャーキャンプ」に名称を変更し、小・中学生を対象とした1週間程度のプログラムを実施しています。これまでに、延べ2,800人を超える子どもたちが参加し、「自己肯定感」「他者との信頼関係の構築」「自然や人に対する感謝の念の育成」等に学びを得てきました。

一方、アメリカでは、大自然の中を舞台とした OBS プログラムにより得られる教育効果を生かし、学校や地域等における冒険教育プログラムを提供する教育機関 Project Adventure (PA) が創設されました。

山口県においては、「やまぐちアドベンチャーキャンプ」の指導者が野外での冒険活動の経験を生かし、学校や地域でも使える PA の手法を取り入れ、山口県の子どもの生きる力を育むひとつの手立てとして Adventure Friendship Program in Yamaguchi (AFPY) を確立し、活動してきました。この手法は、現在、学校教育や社会教育の様々な場に広がり、子どもたちの人間関係を育むために活用されています。

こうした「OBS手法」「PA手法」を取り入れ、学校教育・社会教育の両面における活動を展開していることが山口県の特徴でもあります。



2 「AFPY」の理論



AFPYの定義

AFPYとは、「他者と関わり合う活動を通して、個人の成長を図り、豊かな人間関係を築くための考え方と行動の在り方を学び合う、山口県独自の体験学習法」としています。

ここでいう「他者と関わり合う活動」とは、ゲーム的要素の強い人間関係を深める活動（アクティビティ）はもちろんのこと、各教科、道徳、特別活動、部活動、地域の行事等あらゆる活動を想定することができます。

AFPYのねらい

AFPYは、人間関係を深める活動（アクティビティ）等を生かして、のぞましい集団・学級・学校づくりに取り組む中で、一人ひとりの人間的な成長を促します。これは、様々な活動を通して、「個人の成長」を促し、「自己肯定感の向上」や「自信の回復」などをめざすと同時に、「集団の成長（集団づくり・仲間づくり）」を促し、集団におけるよりよい人間関係づくりをめざすものです。

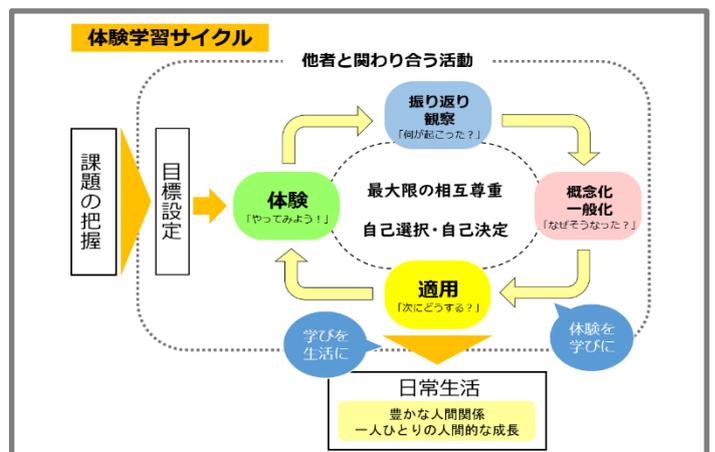
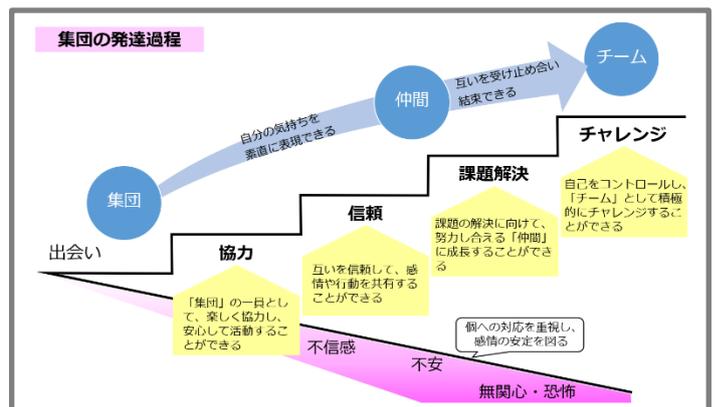
AFPYの基本的な流れ

AFPYでは、様々な活動の中で「体験学習サイクル」の考え方を取り入れ、体験を学びにつなげることにより、豊かな人間関係を育みます。つまり体験（活動）のやりっ放しでなく、活動中の子どもたちの言動からグループで起こっている状況をつかみ、適切にフィードバックし、活動中や活動後の振り返りに生かすことが大切になります。そして、得られた学びを日常生活につなげることが求められます。

指導者の役割

ファシリテーター（促進者 ⇒ 支援者・進行援助者）

指導者は、活動中でのファシリテーター（促進者）として、参加者自身による「目標設定」を促し、参加者自身による目標達成をめざして課題を解決する工夫を行うことができるように様々な支援を行います。そのプロセスの中で、様々な暗喩（メタファー）を仕組んだり、活動中における集団の課題の焦点化を行ったり、自己決定による課題解決への活動の展開などを図っていきます。



■ もっと学びたい人のために…

学びの場・人・書籍等、AFPYに関するお問い合わせは！

山口県教育庁地域連携教育推進課 青少年教育班 AFPY 担当

TEL : 083-933-4650 / FAX : 083-933-4669

[http:// www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/183/26582.html](http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/183/26582.html)

AFPY

検索